

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I. 活動の概況

公益社団法人呉法人会は、「税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体である」という法人会の理念に則り、全法連、県法連と一体となり社会全体への貢献をめざし、税を中心とした事業の活性化を図るとともに、適正・効率的な組織運営を展開しました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日より5類に移行されたことにより、事業の実施にあたっては計画通りに行うことができ、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置きつつ、地域社会の健全な発展に資する事業活動にも積極的に取り組みました。地域社会貢献活動の一環として行っている小学6年生を対象にした「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」においても、例年通りに開催することができました。

また、組織基盤の柱である会員増強では関係友誼団体や地元金融機関の協力もあり、前年度と同数の79社の新規入会がありました。福利厚生制度の推進では「Challenge100」キャンペーンを推進し、加入企業と新契約件数の拡大を図りました。

II. 主な活動

1 税知識の普及や納税意識の高揚を目的とする事業

(1) 研修活動の充実

税法・税務に関する集合型研修は、「インボイス制度」や「電子帳簿保存制度」などをテーマとして、親会・支部・部会を併せ9回開催し延べ440名が参加されました。また、令和3年7月に導入したインターネットセミナー(セミナー・オンデマンド)により、会員企業の知識向上に繋げることができました。

(2) 租税教育に関する事業

平成13年度より取り組んでいる「租税教室」は、担当する小学校28校の6年生児童1,453名を対象に開催しました。また、開催した28校には「租税教室感想文集」を作成して配付し、「卒業お祝い品」としてシャープペンシルを28校の全卒業児童に贈呈いたしました。

15回目を迎えた女性部会主催の「令和5年度 税に関する絵はがきコンクール」は、呉市内35小学校全てから6年生児童1,540名の応募があり、厳正な審査のうえ選出した優秀な作品は、呉市役所や広まちづくりセンター、ゆめタウン呉に展示し、多くの市民の方に観覧していただきました。また、11月25日に開催した表彰式では約200名の児童と保護者に出席いただき、賞状と記念品を授与いたしました。

(3) 税知識普及のための街頭活動

呉税務関係団体連絡協議会に協賛し11月5日の「くれ食の祭典」に合わせて、税に関する「寸劇」「クイズ」「紙芝居」で税の街頭広報を行ない、市民の税知識の向上を図りました。

2 税を巡る諸環境の整備改善等を図る事業

(1) 税制改正への活動

我が国の経済社会を発展させるために公平で健全な税制の実現を目指すためのアンケートを実施し、「呉法人会税制改正要望事項」として取りまとめ、県法連、全法連を通じて要望書を提出しました。

また、11月から12月にかけて全法連作成の「令和6年度税制改正に関する提言」を寺田衆議院議員、新原呉市長、中田呉市議会議長に持参し、税制改正の要望提言活動を実施しました。

(2) 税に関する広報活動

消費税の「期限内納付推進運動」並びに「インボイス制度」「e-Tax」、「eLTAX」、「ダイレクト納付」、「マイナンバー制度」などを各種会合で周知しデジタル化を推進するとともに、会報・ホームページにて税に関する情報を発信して税知識の向上に努めました。

3 地域企業の健全な発展と、地域社会への貢献を目的とする事業

呉税務署管内の法人、個人事業主、および一般市民を対象に、講演会や経営、経済、健康などに関する研修会を開催したことに加え、税務や企業経営に関する小冊子を会員並びに会員以外の希望者にも無償配布して地域企業の健全な発展に寄与しました。また、懇親会や新年互礼会にて会員相互の交流・情報交換を促進し、企業価値の向上を支援しました。

4 法人会会員の活動を支援とすることを目的とする事業

(1) 組織の強化・充実

9月から12月にかけて実施した会員増強運動では、呉税務署、中国税理士会呉支部、福利厚生制度取扱会社3社および地元金融機関3行のご協力のもと、役員、支部長、支部役員、青年部会、女性部会が一丸となって推進した結果、前年度と同じく79社の新入会員を獲得することができ、令和5年12月末時点での法人会員数は2,602社(個人賛助会員101名)、実質加入率は61.88%となりました。

(2) 広報活動の充実

有益な情報を発信していくことを念頭にして、年3回発刊した会報「灰ヶ峰」やホームページを充実させ、税に関する情報や活動内容などを紹介し、法人会の魅力と活力を周知することで税団体として存在感を高めていきました。会報誌は会員企業の他、税務関係友誼団体・地元金融機関窓口及び小学校・一部の市民センターにも配付しました。

また、研修会や講演会の開催案内を地元経済誌等に掲載したことで、多数の方にご参加いただきました。

(3) 青年・女性・調査課部会の充実

イ 青年部会 部会員数 63名

青年部会は時代を担う経営者としての資質向上を目的に研修会・交流会等の活動を実施しました。活動の大きな柱である「租税教育活動」では総務委員会主導のもと、租税教室の講師派遣を積極的に行い、税の意義、役割について創意工夫しながら実施しました。年9回開催した理事会では各事業活動等について協議し、6月に事業報告会を、10月には高知法人会青年部会との交流会と税務諸団体親善ボウリング大会を開催し他団体との親睦を深めました。女性部会と合同で12月に税務研修会を、2月に経営研修会を開催して活動の共有化を図りました。また、2月には企業視察研修で北九州エコタウンを視察し、次世代エネルギーについて見識を広めました。

「財政健全化のための健康経営プロジェクト」については、引き続き浸透を図りながら推進していきます。

ロ 女性部会 部会員数 39名

女性部会は魅力ある女性部会をめざし、研修事業では青年部会と合同で税務研修会を開催し、研修会後は部会員との親睦交流を図りました。

15年目を迎えた「税に関する絵はがきコンクール」は、呉市内35小学校全ての6年生児童から1,540作品の応募があり、呉市美術館長を審査委員長として厳正な審査を行い、呉税務署長賞など特別賞8点、優秀賞45点、入選96点を選出しました。入賞した作品は呉市役所や広まちづくりセンター、ゆめタウン呉に展示し、多くの市民の方に鑑賞していただきました。11月25日には新日本造機ホールにて表彰式を行い、約200名の児童と保護者に参加していただき、賞状と記念品を贈呈しました。

また、令和6年度に「法人会全国女性フォーラム広島大会」を迎えるにあたり、実行委員会が毎月開催され、実行委員を中心に担当業務について協議・立案し準備を進めてきました。11月には同じ業務を担当する東広島、竹原豊田女性部会を呉にお招きして親睦交流を図りました。

ハ 調査課部会 部会員数 21名

調査課部会は部会の定める目的に従い、実務担当者、経営者を対象とした研修会を開催しました。11月に開催した実務者研修会では広島国税局調査査察部調査管理課の方を講師として「令和5年度税制改正のポイント」をテーマに研修を行いました。また、2月に開催した経営者研修会では、元税務署統括官の小原太一郎氏を講師に迎え、「社員のモチベーションはもっと上げられる！」というテーマで研修を行い、部会員以外の方にも聴講して頂きました。

5 法人会会員の福利厚生の上事業

「1社でも多くの会員企業を守りたい」という制度創設時の理念に基づき、福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン「Challenge100」を推進し、組織委員会・厚生委員会が連携して保険加入推進を図りました。福利厚生制度受託3社との連携強化を図り、情報提供先の拡充および会員との接点構築を支援し、各支部役員の協力も得ながら推進を行いました。